

よみがえる勝興寺 大伽藍

～本堂修復の軌跡～



「ふるこぼん」と呼ばれ慕われてきた勝興寺

200年を超える風雪は この建物のほぼ限界を感じさせていた
しかし 平成の大修理によってよみがえった勝興寺 今 新たな魂が吹き込まれた
その古刹再生に向けて汗する職人や関係者の思い
時代を超えて現代に生きる伝統技法が 今 まさに明らかになる

人々のこころの拠り所となる勝興寺に
新しい歴史が始まろうとする



大梁の組み入れ



屋根を支える“天の邪鬼”

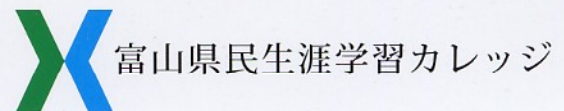
制作協力	重要文化財勝興寺本堂設計監理事務所長 今井成享
および	棟梁 田中健太郎・勝興寺住職 土山照慎
写真提供	伏木写真友会(代表 道前正光)・追分清美 富山県立大学 原口志津子・山田恭子
イラスト	藤川友子
音楽	滝沢 卓
ナレーション	村上 陽
制作・著作	富山県映像センター

本編 15分24秒

※ハイビジョン作品を一般視聴用に変換したDVDを用意しています

お問い合わせ

富山県教育委員会
富山県生涯学習カレッジ 映像センター課
〒930-0096 富山県富山市舟橋北町7-1 富山県教育文化会館3F TEL076-441-8454



富山県生涯学習カレッジ